

## 目次

# Chapter 1

## イオンファンタジーの現在地

- 05 価値創造のあゆみ
- 07 事業展開
- 09 コアコンピタンス
- 11 価値創造モデル
- 13 業績ハイライト

# Chapter 2

## イオンファンタジーが目指す先

- 15 今後の方向性
- 17 社長メッセージ
- 23 特集対談: プレイグラウンド開発のキーマンが語る  
こどもたちの“えがお”をきっかけに  
あらゆる世代をえがおにする世界を創り出していく

# Chapter 3

## 中期経営計画

- 27 中期経営計画
- 29 事業担当役員メッセージ
- 31 事業戦略 国内事業
- 33 海外事業 アセアン
- 35 海外事業 中国
- 37 機能戦略 人事戦略/DX戦略
- 39 財務担当役員メッセージ

# Chapter 4

## サステナビリティ

- 43 サステナビリティマネジメント
- 45 社会
- 50 環境
- 53 ガバナンス
- 59 役員一覧
- 61 社外取締役メッセージ
- 63 連結経営指標等 10年間サマリー
- 65 会社概要/株式情報

### 編集方針

当社は、2022年度に制定したパーパスのもと、事業を通じて様々な「あそびの体験」を提供することで、こどもたちの夢を育み、「えがお」に貢献することを目指しています。統合報告書2024では、当社の価値創造の現在地をご説明するとともに、さらなる成長に向け新たに策定したビジョンと中期経営計画、ESG活動について報告しています。統合報告書を株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションツールとして活用し、開示の充実と企業価値向上に努めます。

### 対象期間

2023年度(2023年3月1日から2024年2月29日)  
一部、当該期間以前もしくは以後の活動も報告内容に含まれます。

### 対象範囲

株式会社イオンファンタジー及びグループ各社

### 参考ガイドライン

- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイドランス」



# Chapter 1

## イオンファンタジーの現在地

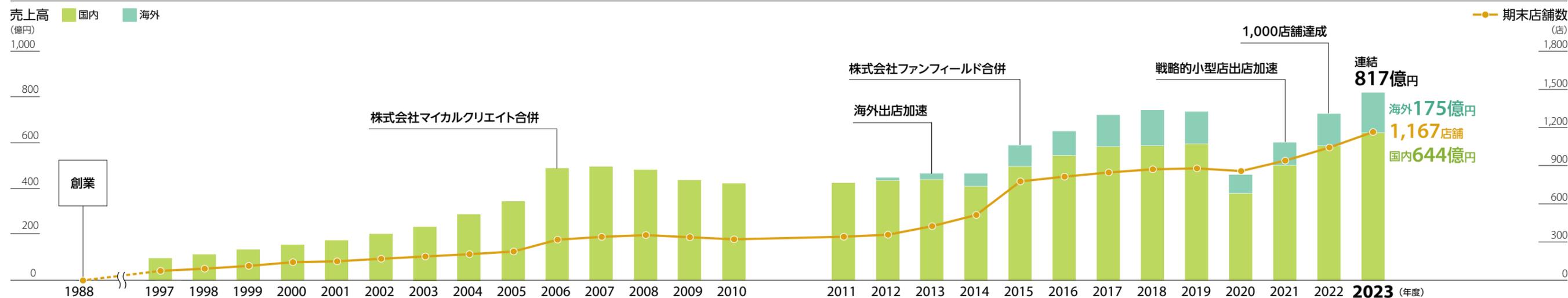
# こどもたちのえがおに 貢献する企業として。

イオンファンタジーは「ファミリーが安心して遊べる場所をつくる」という想いから創業しました。「こどもたちのえがお」に貢献し続けることが、イオンファンタジーのパーパスであり、事業の根幹です。世界各地で展開する様々な事業・サービスが、こどもたちの夢を育み、「えがお」あふれる世界の実現につながる——そう信じて、これからも新たな価値を追求していきます。

- 05 価値創造のあゆみ
- 07 事業展開
- 09 コアコンピタンス
- 11 価値創造モデル
- 13 業績ハイライト

# 価値創造のあゆみ

イオンファンタジーは、1988年の創業以来、子どもたちとそのファミリーに向き合い、世界各地で様々な事業・業態を展開してきました。私たちが変わらず大切にしていることは、「子どもたちのえがお」です。これからも、「あそび」を通じて子どもたちの成長を支え、新たな価値を提供していきます。



## 創業期 → 成長期 → 変革期

**「室内ゆうえんち」という新たな価値の創造**

1988年に「明るく安全な室内ゆうえんち」をコンセプトとしたファミリー向けアミューズメント施設をオープン。若者向けの娯楽施設という従来のアミューズメントのイメージを一新し、家族にたのしさとふれあいを提供しました。2001年には現在の主力業態である「モーリーファンタジー」を初出店し、2005年には全国200店舗を達成しました。



第1号店のメリーゴーラウンド 2007年のモーリーファンタジー店舗

**二度の合併と海外進出。アミューズメント業界首位へ**

2006年、2015年に行った企業合併により事業規模が拡大。売上・店舗数ともに国内業界首位となりました。また、2007年の中国進出を契機として、プレイブランド事業を中心に海外各国への出店を進め、10年間で6カ国へ展開しました。特に、アセアンでは安全で清潔な屋内のあそび場への需要が高く、当社の施設は高い評価を受けています。



中国の1号店 FANPEKKA

**「こどもの成長」を軸とした新たな価値の提供**

**「あそびを通じたまなび」への挑戦**

創造性や社会性を育むプレイグラウンド事業はもちろん、アミューズメント事業においてもオリジナルマシンを開発するなど、「あそびながらまなぶ」というエデュテイメントの概念に着目した事業・業態を拡大しました。また、温浴事業やアウトドア事業にも参入するなど、あそびや家族のふれあいを軸として事業の多角化にも取り組みました。



キッズーナ1号店 カプセル玩具専門店「カプセル横丁」

**「こどもの成長」という新たな価値へ**

コロナ禍で業界全体が大きな打撃を受けましたが、国内のプライズ・カプセル玩具業態は好調を維持、コロナ収束後はアセアン各国で売上が増加するなど、あそびへの需要は不変でした。私たちは子どもと家族にとっての「あそび」の価値を再認識し、パーパスとして昇華させ、「こころ・あたま・からだの成長」という新たな価値の提供を目指します。



ちぎゅうのいわ 海外プレイグラウンド

会社の沿革	1988年	1998年	2005年	2011年	2014年	2017年	2022年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャスコ株式会社 SC部アミューズメント事業課創立 第1号店となる「ファンタジーパーク大館店」を開店</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社是・企業理念の制定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東証第一部上場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオンファンタジーマレーシア設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオンファンタジーインドネシア及びイオンファンタジーフィリピン設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオンファンタジーベトナム設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーパスを制定</li> <li>東証プライム市場を選択</li> <li>世界で1,000店舗を達成</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社イオンファンタジー設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JASDAQ 市場上場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社マイカルクリエイトと合併</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオンファンタジータイランド設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ファンフィールドと合併</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>東証第二部上場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2006年 株式会社マイカルクリエイトと合併</li> <li>2007年 イオンファンタジー北京(現イオンファンタジー中国)設立</li> </ul>				

# 事業展開

イオンファンタジーは、アミューズメントとプレイグラウンドを中心に、日本・アジア各地で様々な施設とサービスを展開しています。出店する地域や商業施設、ターゲットに合わせて業態を最適化させることで、より多くの子どもたちの“えがお”に貢献しています。

2024年2月期売上高  
**817億58百万円**

店舗数  
**9カ国 1,167店舗**

2024年2月期営業利益  
**35億85百万円**

従業員数  
**7,641名**

## 展開業態

### プレイグラウンド

自由にあそびをつくりあげる、  
ふれあいがうまれる空間

思い切りあそべる大きな遊具や、創造力を育む知育玩具などを備える室内遊具施設を運営しています。家族や友だち、店舗スタッフとふれあうことで、お子さまの成長をサポートします。文化や社会課題など特定のテーマを持つ大型店舗も展開しています。



大型業態「ちぎゅうのこわ」

	店舗数
屋内公園的 プレイグラウンド 	<b>193</b> 店舗
あそびを通じた子育て支援 母子分離機能を持つ施設 	<b>56カ所+1</b> 店舗
ブランド価値を深める テーマ型大型店舗 	<b>11</b> 店舗
あそびを通じた環境志向の醸成 SDGsテーマの大型店舗 	<b>2</b> 店舗

※数値は2023年度末

### アミューズメント

誰でもすぐに夢中になれる、  
えがおを生み出す空間

最新のゲームマシンや人気商品を取り揃えたアミューズメント施設を運営しています。誰もが直観的に楽しめる様々なあそびを提供するとともに、ニーズに特化した専門店業態やこどもの成長に寄与する独自コンテンツの開発を行っています。



標準業態「モーリーファンタジー」

	店舗数
ファミリー向け アミューズメント 	<b>592</b> 店舗
オールエイジ対応 	<b>46</b> 店舗
戦略的小型店 	<b>271</b> 店舗

## 国内事業

ファミリーをメインターゲットとし、全国のショッピングセンターを中心に店舗を展開。直近では好調の戦略的小型店の出店を加速し、新たなエリアとして駅前繁華街へも展開をスタートしています。また、こどもの成長やSDGsをテーマにした新業態を開発しつつ、新たなターゲットとしてZ世代向けの業態開発にも着手しています。



セグメント別売上高比率



店舗数  
**703**店舗

## 海外事業 アセアン

各国の経済成長に合わせ、主要都市だけでなく地方都市へも展開。1つの商業施設に複数出店を前提とし、様々な業態開発を行っています。また、イオングループだけではなく、現地の有力ディベロッパーとの連携により出店を拡大しています。競合他社には真似できない日本水準の安全規格と接客レベルは高い評価を受けています。



セグメント別売上高比率



店舗数  
**277**店舗

## 海外事業 中国

市場ニーズの変化を捉え、アミューズメント中心の構成から当社の強みを活かせるプレイグラウンドへのシフトを行っています。また、商業施設の遊休スペースに柔軟に対応できる高いROIを持つ小型業態を積極的に拡大し、効率的な経営を推進しています。



セグメント別売上高比率



店舗数  
**187**店舗

## コアコンピタンス

イオン生活圏を中心とした4つの「独自の強み」を経営に活かし、市場競争力のある事業やサービスの開発を推進していきます。

### イオン生活圏という 強大な企業基盤

国内のみならず海外においても人々の暮らしに根差した生活圏を形成しているイオングループ。その圧倒的な規模は営業収益・店舗数・来場者数などの経済的側面だけでなく、地域とのつながり・企業アライアンス・商品開発力といった目に見えないアセットを通じた強い影響力を持っています。

グループ連結営業収益  
**9兆5,535億円**

店舗数  
**14カ国 1万7,887店舗**

お買物客数(2022年のべ)  
**約40億人**

会員数  
**約5,027万人**



### ファミリー層と直接繋がる リアルタッチポイントの数

子どもたちのあそびに国境はありません。私たちが提供するあそびは国内外を問わず広く受け入れられ、グローバルに通用するエンターテインメントとして独自の存在感を発揮しています。このお客さまとの直接的なつながりが、新しいあそびの提案や安定した事業成長を生み出しています。

店舗数  
**9カ国 1,167店舗**

年間来場者数(海外含む)  
**のべ2億人**

国内デジタル会員数  
**約87万人**

店舗の認知度  
**73%**



### こどものえがおを支える 専門人財

子どもたちに「えがお」を提供する人財力も他社が追従できない強み。保育士など資格保有者を採用するほか、あそびをサポートする社内資格を複数設けることで、スタッフの質を高めています。電気工事士資格を持つメンテナンススタッフは自社だけでなく社外においても点検整備を受注請負しており、あそび場の安全を守っています。

保育士、幼稚園教諭資格保有者数  
**668人**

電気工事士資格保有者数  
**75人**

エンタメリーダー数  
**311人**

CSインストラクター数  
**1,286人**



### 独自のたのしさを生み出し 提供するあそびの開発力

子どもたちが喜ぶ「色」「動き方」「キャラクター」「コミュニケーション」など、その嗜好性や気持ちの動きを長年にわたって研究し、ノウハウとして蓄積してきました。それが、広く支持される独自業態やオリジナルの遊戯機械・遊具・イベントなどを開発し提供できる理由です。

開発した業態数  
**23業態**

オリジナル遊戯機械比率(国内)  
**43.9%**

オリジナル遊具比率  
**約70%**

海外における遊具の現地調達比率  
**約90%**



# 価値創造モデル

イオンファンタジーは、4つのコアコンピタンスを活かし、2つの主力事業を通じて子どもたちの“えがお”に貢献しています。さらなる事業成長に向け、「あそびの体験」の創出へ注力するとともに、各マテリアリティ（重要課題）に取り組み、多様な価値を社会に提供していくことで、“えがお”あふれる世界の実現を目指します。

## 経営資源(インプット)

財務資本	
総資産	523億円
知的資本	
従業員への教育投資	5,700万円
人的資本	
従業員数	7,641名
保育士、幼稚園教諭資格保有者数	668名
電気工事士資格保有者数	75名
社会関係資本	
展開国数	9カ国
店舗数	1,167店舗
年間来場者数	2億人

※数値は2023年度末

## 事業活動(ビジネスアクティビティ)

### アミューズメント事業

ゲームに設定された目標を達成することで子どもたちの成長を育む

### プレイグラウンド事業

遊具を使って自分たちで創造することで子どもたちの成長を育む

### 中期経営計画

「業態開発」「エリア開発」による、競争力と収益性の向上

目標数値(2026年度)

売上高(連結)	975億円
営業利益(連結)	74億円
営業利益率	7.6%

## コアコンピタンス

- ### マテリアリティ(重要課題)
- 子どもたちの未来への貢献
  - 従業員がいきいきと働ける組織づくり
  - 地域社会とのコミュニケーションの深化
  - 脱炭素社会・循環型社会・生物多様性保全の実現
  - コーポレート・ガバナンスの強化

## ビジョン

子どもたちの  
“たのしい”を創造し  
「こころ・あたま・からだの  
成長」を育み続ける  
ファミリー支援企業になる

## 事業の成果(アウトプット)

子どもの体験価値を提供する様々な事業・サービス

誰もが夢中になれるアミューズメント



心身ともに成長するプレイグラウンド



専門資格を有する多様な人財の活躍

店舗でのCO<sub>2</sub>排出、廃棄物量の削減

## 創出価値

たのしさ

ふれあい

ファンタジー  
ピープルの  
ハピネス

安全・安心

おもてなし

## 社会への提供価値(アウトカム)

たのしい体験による  
子どもたちの「こころ・  
あたま・からだの成長」

地域社会における  
新たなコミュニティ、  
ふれあいの機会の  
創出

パーパス  
子どもたちの  
夢中を育み、  
“えがお”あふれる  
世界をつくる。

一人でも多くの子どもが  
未来を夢見て  
生きられる社会

脱炭素社会、  
循環型社会の実現、  
生物多様性の保全

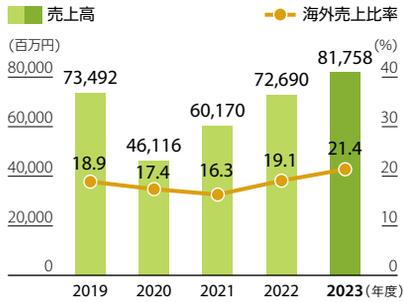
すべての従業員が  
仕事に夢中になれる

## 外部環境変化

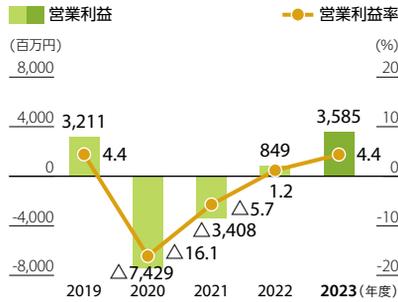
- ロードサイド店の減少
- 市場競争の激化
- 教育ニーズの高まり
- 働き方の変化
- 公園・遊具の減少
- 都市郊外化
- 少子高齢化
- エネルギー問題
- 環境意識の高まり
- デジタル化の加速

# 業績ハイライト

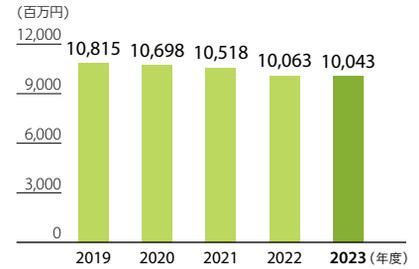
## 売上高／海外売上比率



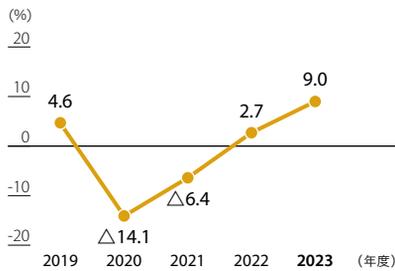
## 営業利益／営業利益率



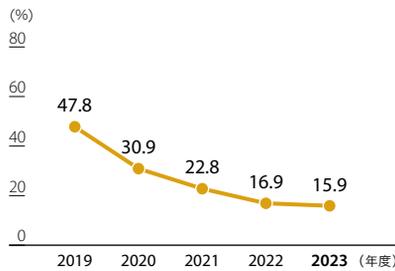
## 減価償却費



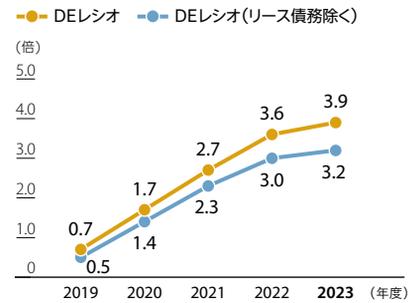
## ROA(総資産経常利益率)



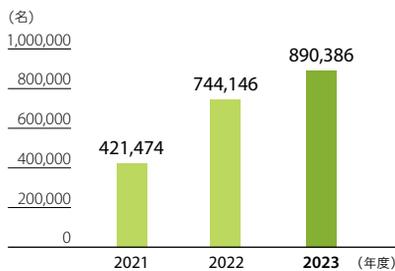
## 自己資本比率



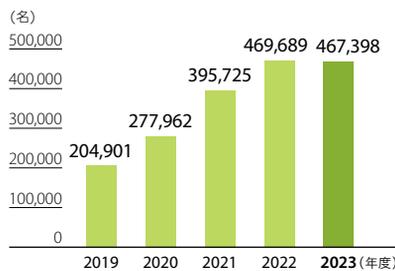
## DELレシオ



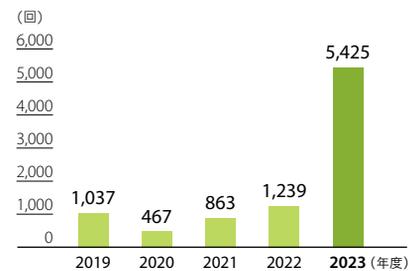
## モーリーファンタジー DX累積会員数\*



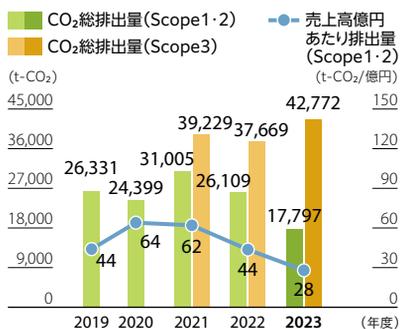
## 公式X(旧Twitter)フォロワー数



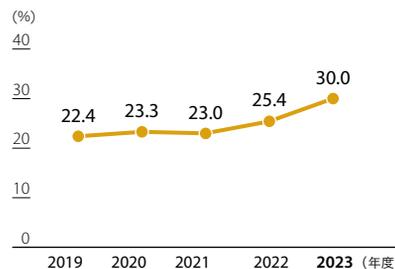
## 社会福祉施設等のこどもたちの訪問会・招待会の開催回数(国内・海外)



## CO<sub>2</sub>排出量



## 国内女性課長職以上比率



## 男性育児休暇取得率



※ 2021年にアナログのスタンプ会員を廃止しデジタルの会員制度(モーリーファンタジー DX)に移行。2024年3月にモーリーファンタジー DXから『イオンファンタジー LINE公式アカウント』及び『トットット』アプリに移行。